

鎌倉音楽茶論【イタリアの教会より⑪】

「カフェサンスーシ」がお贈りするサロンコンサート
バロック・ヴァイオリン・シリーズ 第十一弾！



11月11日（日） 14時～
於：カフェサンスーシ
（鎌倉雪の下3-10-23
清泉小正門前）

会費：2600円（珈琲・紅茶付、
ケーキセット +400円）

要予約 0467-23-7223 岡本

ルネサンスからバロックの前半にかけて、主に教会音楽のアンサンブルで低音楽器として使われたヴィオローネ 大きいものはコントラバス、小さいものはチェロへと変化 今回は8フィートの小型のヴィオローネを使用して、イタリアの教会ソナタを中心にお届け致します！お楽しみに！

～演奏曲目～

A・Corelli：ヴァイオリン、ヴィオローネまたはチェンバロの為のソナタ
op. 5 より

C・A・Lonati：ヴァイオリンと通奏低音の為のソナタ第1番 他

～出演者プロフィール～

今 卓也（バロック・ヴァイオリン） 東京生まれ 6歳よりヴァイオリンを故清水章央氏（N響）に師事 バロック・ヴァイオリンを小野萬里氏、寺神戸亮氏、ジャズを寺下 誠氏に師事 マルチ分野の演奏活動を展開 古楽アンサンブル代表

徳島 大藏（ヴィオローネ） 米国インディアナ大学音楽学校大学院修士課程コントラバス科卒業 ヴィオローネ（ヴィオール奏法）をウェンディ・ギレスピー氏、に師事 帰国後は上野学園大学古楽研究室・櫻井茂氏の元で古楽器演奏を学ぶ